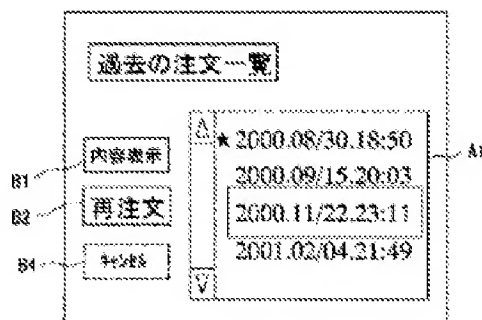


**PRINT ORDER PROGRAM AND COMPUTER-READABLE STORAGE MEDIUM****Publication number:** JP2002366810**Publication date:** 2002-12-20**Inventor:** KAMIMURA HIROYUKI; IKEDA HIROSHI**Applicant:** KONISHIROKU PHOTO IND**Classification:****- international:** G03B27/46; G06Q30/00; G06Q50/00; G03B27/46;  
G06Q30/00; G06Q50/00; (IPC1-7): G06F17/60;  
G03B27/46**- European:****Application number:** JP20010177863 20010613**Priority number(s):** JP20010177863 20010613

Report a data error here

**Abstract of JP2002366810**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a print generating program and a computer-readable storage medium which enable re-printing by easy operation once printing is ordered. **SOLUTION:** A print order button B2 for ordering a print of the same contents with one print order which was accepted is displayed on the display screen of the monitor 11a of a terminal 11, so the print can be re-ordered conveniently by simple operation for clicking on the print order button B2 and so on.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-366810  
(P2002-366810A)

(43) 公開日 平成14年12月20日 (2002. 12. 20)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 C 2 H 1 0 6
	1 2 4		1 2 4
	Z E C		Z E C
G 0 3 B 27/46		G 0 3 B 27/46	B

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-177863 (P2001-177863)

(22) 出願日 平成13年 6 月13日 (2001. 6. 13)

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿 1 丁目26番 2 号

(72) 発明者 上村 裕之

東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

(72) 発明者 池田 博

東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内

(74) 代理人 10010/272

弁理士 田村 敬二郎 (外 1 名)

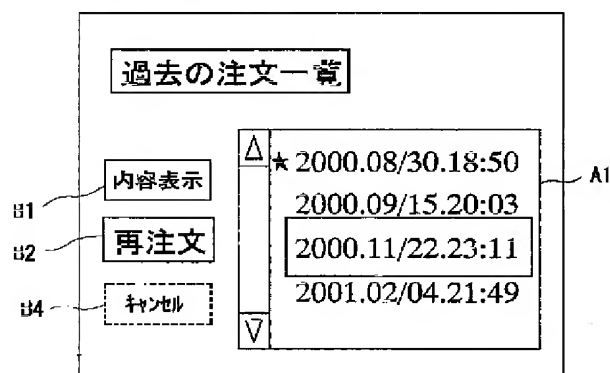
F ターム (参考) 2H106 BA95

(54) 【発明の名称】 プリント注文プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】一度プリント注文を行った場合、簡単な作業により再プリントを可能とするプリント作成プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供する。

【解決手段】既に注文済みの 1 オーダー分のプリント注文に対して、再度同じ内容でプリント注文を行うためのプリント注文ボタン B 2 を、端末 1 1 のモニタ 1 1 a の表示画面に表示するので、かかるプリント注文ボタン B 2 をクリックするなどの簡単な操作により、プリント再注文が可能となるので便利である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリント注文データ作成装置の表示画面を用いてプリント注文を行うために実行されるプリント注文プログラムにおいて、

既に注文済みの1オーダー分のプリント注文に対して、再度同じ内容でプリント注文を行うためのプリント注文ボタンを、前記表示画面に表示することを特徴とするプリント注文プログラム。

【請求項2】 前記プリント注文データ作成装置と、プリント生産者が管理するサーバーとはネットワークを介してデータ通信可能に接続されており、

前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容に関する情報は、前記サーバーに記憶されており、

前記情報は、前記サーバーから読み出されて、前記ネットワーク経由で前記プリント注文データ作成装置に取得されることによって、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容が前記表示画面に表示されることを特徴とする請求項1に記載のプリント注文プログラム。

【請求項3】 前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容には、各画像コマに対するプリント枚数及びプリントサイズが含まれることを特徴とする請求項1又は2に記載のプリント注文プログラム。

【請求項4】 前記表示画面に表示されたプリント注文ボタンの操作によって、プリント注文がなされた後に、所定期間にわたって、前記プリント注文をキャンセルするためのキャンセルボタンを前記表示画面に表示することを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のプリント注文プログラム。

【請求項5】 プリント注文データ作成装置の表示画面を用いてプリント注文を行うために実行されるプリント注文プログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体において、

既に注文済みの1オーダー分のプリント注文に対して、再度同じ内容でプリント注文を行うためのプリント注文ボタンを、前記表示画面に表示することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項6】 前記プリント注文データ作成装置と、プリント生産者が管理するサーバーとはネットワークを介してデータ通信可能に接続されており、

前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容に関する情報は、前記サーバーに記憶されており、

前記情報は、前記サーバーから読み出されて、前記ネットワーク経由で前記プリント注文データ作成装置に取得されることによって、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容が前記表示画面に表示されることを特徴とする請求項5に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項7】 前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容には、各画像コマに対するプリント枚数

及びプリントサイズが含まれることを特徴とする請求項5又は6に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項8】 前記表示画面に表示されたプリント注文ボタンの操作によって、プリント注文がなされた後に、所定期間にわたって、前記プリント注文をキャンセルするためのキャンセルボタンを前記表示画面に表示することを特徴とする請求項5乃至7のいずれかに記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、プリント注文プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、デジタルカメラやスキャナーなどの画像データ生成機器は、画像処理技術の向上により、めざましい勢いで普及している。それに伴い、使用しているユーザーのデジタル画像に対する意識も高まり、インターネットのホームページ作成やデジタルプリントなど様々な用途で使われてきている。一方、従来ラボでは、ネガフィルムを用いてプリントを作成してきたが、デジタルカメラの普及にともない、画像プリントサービスを行う出力センターやミニラボ（小規模現像所）や集中処理を行う大ラボなども当然、デジタル画像データを取り扱うサービスが増えてきており、そのサービスバリエーションは多岐に渡る。

【0003】一方、インターネットの一般家庭への普及にともない、このようなデジタル画像データを取り扱うサービスの一例として、顧客がラボなどの管理するサーバーに、インターネットを介して画像データをアップロードすることで、ラボ側で、アップロードされた画像データに基づいてプリントを行い、顧客に提供することが行われている。かかるサービスによれば、顧客が自宅に居ながらにして、自己の所有する画像データのプリントの注文ができるという利点がある。更に、インターネットのブロードバンド化に伴い、インターネット上に顧客が自由に使用できるような記憶領域を提供するサービスも増加してきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ここで、例えばデジタルスチルカメラで子供を撮影したようなときに、その画像データに基づいてプリント注文を行ったところ、プリントの出来映えが良かったため、別にプリントして祖父母にプレゼントすることを思いついたような場合には、再度同じ内容でプリント注文を行いたいことがある。ところが、デジタルスチルカメラにより取得された画像データは、パソコンなどのハードディスクやCD-Rなどの大容量のメディアに、整理されることなく大量に保存されることが多いため、そのような膨大な画像データの

中から、前回プリント注文に用いた画像データのみを抽出することは、手間のかかる作業であるといえる。

【0005】本発明は、かかる問題点に鑑みてなされたものであり、一度プリント注文を行った場合、簡単な作業により再プリントを可能とするプリント作成プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】第1の本発明のプリント作成プログラムは、プリント注文データ作成装置の表示画面を用いてプリント注文を行うために実行されるプリント注文プログラムにおいて、既に注文済みの1オーダー分のプリント注文に対して、再度同じ内容でプリント注文を行うためのプリント注文ボタンを、前記表示画面に表示するので、プリント再注文のために再度画像データを収集するというような手間のかかる作業を行うことなく、かかるプリント注文ボタンをクリックするなどの簡単な操作により、プリント再注文が可能となるので便利である。

【0007】更に、前記プリント注文データ作成装置と、プリント生産者が管理するサーバーとはネットワークを介してデータ通信可能に接続されており、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容に関する情報は、前記サーバーに記憶されており、前記情報は、前記サーバーから読み出されて、前記ネットワーク経由で前記プリント注文データ作成装置に取得されることによって、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容が前記表示画面に表示されると、プリント発注者側で、プリント注文を特定する情報を記憶しておく必要がなく、より簡単な操作でプリント再注文が可能となる。

【0008】又、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容には、各画像コマに対するプリント枚数及びプリントサイズが含まれると、同じプリント枚数及びプリントサイズを所望する場合には、それらのデータをいちいち入力する手間が省け、簡単な操作でプリント再注文が可能である。

【0009】更に、前記表示画面に表示されたプリント注文ボタンの操作によって、プリント注文がなされた後に、所定期間にわたって、前記プリント注文をキャンセルするためのキャンセルボタンを前記表示画面に表示すると、誤ったプリント再注文を、前記キャンセルボタンをクリックするなどの簡単な操作でキャンセルできるので好ましい。

【0010】第2の本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、プリント注文データ作成装置の表示画面を用いてプリント注文を行うために実行されるプリント注文プログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体において、既に注文済みの1オーダー分のプリント注文に対して、再度同じ内容でプリント注文を行う

ためのプリント注文ボタンを、前記表示画面に表示するので、プリント再注文のために再度画像データを収集するというような手間のかかる作業を行うことなく、かかるプリント注文ボタンをクリックするなどの簡単な操作により、プリント再注文が可能となるので便利である。

【0011】更に、前記プリント注文データ作成装置と、プリント生産者が管理するサーバーとはネットワークを介してデータ通信可能に接続されており、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容に関する情報は、前記サーバーに記憶されており、前記情報は、前記サーバーから読み出されて、前記ネットワーク経由で前記プリント注文データ作成装置に取得されることによって、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容が前記表示画面に表示されると、プリント発注者側で、プリント注文を特定する情報を記憶しておく必要がなく、より簡単な操作でプリント再注文が可能となる。

【0012】又、前記既に注文済みの1オーダー分のプリント注文の内容には、各画像コマに対するプリント枚数及びプリントサイズが含まれると、同じプリント枚数及びプリントサイズを所望する場合には、それらのデータをいちいち入力する手間が省け、簡単な操作でプリント再注文が可能である。

【0013】更に、前記表示画面に表示されたプリント注文ボタンの操作によって、プリント注文がなされた後に、所定期間にわたって、前記プリント注文をキャンセルするためのキャンセルボタンを前記表示画面に表示すると、誤ったプリント再注文を、前記キャンセルボタンをクリックするなどの簡単な操作でキャンセルできるので好ましい。

【0014】本明細書中、画像データとは、一般的にはデジタル化された画像データをいい、具体的にはネガフィルムやポジフィルム等の透過原稿、印画紙、印刷物などの反射原稿のようなアナログで記憶された情報を量子化してデジタル化したデータや、デジタルカメラのように直接的にデジタル情報として記憶されたデータ、顧客がコンピュータ上で任意に作図した画像データ（一般的にはCG）などをいう。

【0015】又、ネットワークとは、コンピュータ・システム、端末、データ通信設備を相互に接続したものをいう。接続は専用回線、公衆回線、電力線、光ファイバのような有線で接続されていても良いし、無線で接続されていても良いし、それらの複合形態で接続されていても良い。いわゆるインターネットなどもネットワークに含まれる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態を参照して本発明を説明する。図1は、本実施の形態にかかるプログラムを記憶した端末等を含むネットワークシステムを示す概略図である。顧客の端末11及びデジタルスチルタイ

ブのカメラ12と、コンビニなどに設置されたプリント注文データ作成装置13は、不図示のルータやモデムなど、端末やLANをインターネットに接続させるための機器を介してインターネットなどのネットワークに代表されるWAN (Wide Area Network) にデータ通信可能に接続されている。尚、後述するように、端末11とデジタルスチルカメラ12もプリント注文データ作成装置として機能する。

【0017】一方、写真店などに設置されたプリント注文サーバー（プリント生産者が管理するサーバーであれば、必ずしも同一敷地内にある必要はない）21とプリンタ22とメディアドライブ23は、互いにデータ通信可能に接続されており、プリント注文サーバー21は、インターネットなどのWANにデータ通信可能に接続されている。

【0018】図1に基づいて、プリント注文の流れを示すと、ここで、顧客は、例えばデジタルスチルカメラ12で撮影した画像データに基づいて、写真店でのプリントを所望したとする。かかる場合、顧客は、端末11に、デジタルスチルカメラ12の記憶媒体12aから画像データを読み出して、端末11上でプリント注文データ（最低限プリント枚数、プリントサイズを含む）を作成することができる。

【0019】或いは、デジタルスチルカメラ12から画像データを記憶した記憶媒体12aを取り外し、プリント注文データ作成装置13の挿入スロット13aに挿入すると、プリント注文データ作成装置13は、挿入された記憶媒体13aから画像データを吸い上げるので、それに基づきプリント注文データを作成できる。

【0020】このようにして作成されたプリント注文データは、画像データと対応づけられた形で、WANを介して注文サーバー21に送信され、その注文内容に応じて、プリンタ22でプリントが行われるようになっていく。形成されたプリントは、写真店から顧客へと郵送や宅配等の手段で配送されることとなる。

【0021】尚、別の実施の形態では、デジタルスチルカメラ12自体がプリント注文データを作成でき、且つWANを介して、プリント注文サーバー21に、作成したプリント注文データを、画像データと対応づけた形で送信可能である。或いは、画像データとプリント注文データが記憶された記憶媒体12aを直接、写真店に搬送し、メディアドライブ23で読み出すことによって、写真店でプリント注文データを作成し、プリント注文サーバー21に画像データと対応づけた形で記憶させることもできる。いずれの態様であっても、プリント注文データには、後述するように個々に固有の注文番号が付されたファイルに記憶される。

【0022】次に、プリント再注文について説明する。図2、3は、端末11のモニタ11aに表示された画面の例を示す図である。ここで、端末11から行ったプリ

ント注文に関し、過去のプリント注文データは、画像データと対応づけられた形で、端末11に記憶されているものとする。ここで、プリント再注文を所望する顧客が、端末11に対して、過去に行ったプリント注文データの表示を指令すると、端末11は、図2に示すようにモニタ11aに、過去に行ったプリント注文データの注文番号を、1オーダー毎に領域A1に表示させる。ここで注文番号は、実際に注文を行った西暦、月、日、時分の数字の組み合わせからなり、全く同じものはないと考えられる。

【0023】更に顧客は、例えば西暦2000年11月22日頃にプリント注文したというような過去の記憶を呼び起こすことで、再注文を行いたいプリント注文データを、表示された注文番号（ここでは「2000.11/22.23:11」）上をクリックするなどの操作で指定する。プリント注文データの内容を確認したい場合、顧客は、表示画面のボタンB1をクリックすることができる。すると、表示画面は図3に示すものに切り替わる。

【0024】図3において、表示画面の領域A2には、既に行われたプリント注文データの内容として、画像ファイル名、プリント枚数、プリントサイズが表示される。更に、顧客がファイル名（ここでは046.JPG）をクリックすると、そのファイルが指定され、そのサムネイル画像G1が左方に表示されるようになっていく。又、かかる画面において、プリント枚数、プリントサイズを個々に変更することもできる。確認が終了すれば、顧客がボタンB3をクリックすることで、表示画面は、図2に示すものに戻る。その後、プリント注文ボタンB2をクリックすれば、端末11からWANを介して、プリント注文サーバー21に、指定されたプリント注文データと画像データとが対応づけられる形で送信されるようになっていく。

【0025】再送信が行われたプリント注文データが記憶されるファイルには、送信時刻に対応して新たな注文番号が付されるが、それとともに、注文番号の左端に黒星マークが付され、これにより再注文にかかるプリント注文データであることが示されると良い。

【0026】顧客が誤った場合を想定し、再注文にかかるプリント注文データによるものを含む全てのプリント注文は、データの送信後においてもキャンセルが可能である。しかしながら、送信から所定の時間が経過すると、プリントが行われてしまうので、キャンセルはできなくなる。従って、キャンセルできる期間を時間で区切り、例えばプリント注文データ送信から1時間以内は、キャンセル可能とする考えもあるが、本実施の形態では、以下のようにしてキャンセルを取り扱っている。

【0027】プリント注文サーバー21には、プリントを待つプリント注文データのファイル名がリスト（不図示）になっており、それらは時間順にプリント22でプ

プリント処理され、その処理結果はリアルタイムでプリント注文サーバー２１に入力される。従って、プリント注文サーバー２１は、プリント注文をキャンセルできるタイミングを判断できるといえる。

【００２８】一つの態様について述べる。端末１１をプリント注文サーバー２１に常時接続している場合、図２に示すような表示画面において、顧客のクリック操作により、端末１１から、特定のプリント注文（例えば「２０００．１１／２２．２３：１１」）が指定された旨の情報が、プリント注文サーバー２１に送信されると、プリント注文サーバー２１は、上記処理結果に基づいて、指定されたプリント注文がキャンセル可能か不能か判断し、それに応じた情報を端末１１へ返信する。端末１１は、キャンセル可能であるという情報が返信されれば、キャンセルボタンＢ４を表示場面に表示し、キャンセル不能であるという情報が返信されれば、キャンセルボタンＢ４を表示しないようにする。従って顧客は、指定したプリント注文につき、キャンセルボタンＢ４が表示されているときだけ、それをクリック操作することで、プリント注文がキャンセルできることがリアルタイムで判る。

【００２９】別な態様について述べると、端末１１の表示場面にキャンセルボタンＢ４を常時表示し、顧客が、特定のプリント注文を指定し、且つキャンセルボタンＢ４をクリック操作すると、その情報がプリント注文サーバー２１に送信され、プリント注文サーバー２１は、上記処理結果に基づいて、指定されたプリント注文がキャンセル可能か不能か判断し、それに応じた情報を端末１１へ返信する。端末１１は、キャンセル可能であるという情報が返信されれば、「～のプリント注文はキャンセルされました」というメッセージを表示場面に表示し、キャンセル不能であるという情報が返信されれば、「～のプリント注文はキャンセルできません」というメッセージを表示する。かかるメッセージにより、顧客は、キャンセルの可否がわかる。

【００３０】簡単な操作でプリント再注文を可能とする以上の処理は、ＣＤ－Ｒなどの記憶媒体に記憶されたプリント注文プログラムを端末１１に読み出すことにより実行でき、また同様なプログラムによって、デジタルスチルカメラ１２でも同様な処理を行うことができ、更にはプリント注文データ作成装置１３においても、同様な処理を行うことができる。但し、プリント注文データ作成装置１３は、不特定人が使用することを前提としているため、ここに過去のプリント注文データと画像データを記憶しても良いが、管理上の観点から、むしろプリント注文サーバー２１に、プリント注文データと画像データを対応づけるかたちで記憶することが望ましい。かかる場合、プリント注文データ作成装置１３に、顧客に固有

の識別番号（又は電話番号）を入力することで、その識別番号等に関する情報がプリント注文サーバー２１に送信され、それに応じて検索された情報が返信されることにより、その表示画面１３ｂに、図２に示すような、その顧客が過去行ったプリント注文にかかるプリント注文データのファイル名一覧を表示することができる。

【００３１】以上、本発明を実施の形態を参照して説明してきたが、本発明は上記実施の形態に限定して解釈されるべきではなく、適宜変更・改良が可能であることはもちろんである。例えば過去のプリント注文データは、ネットワークを介して行われたものに限らず、記憶媒体１２ａを写真店に持参して行ったプリント注文にかかるデータであっても良く、場合によっては銀塩フィルムを写真店で画像データに変換し、それに基づき行ったプリント注文にかかるデータであったも良い。更に、プリント注文データと、画像データは、それが対応づけられている限り、ネットワーク上のいずれに記憶されても良い。例えば、プリント注文データの保存場所は、端末１１、プリント注文サーバー２１、ＷＡＮに接続された外部サーバーが考えられ、画像データの保存場所も、端末１１、プリント注文サーバー２１、ＷＡＮに接続された外部サーバーが考えられる。これらに記憶されている限り、プリント再注文はいつでもできるが、例えばプリント注文サーバー２１にプリント注文データを記憶する場合、その管理上の問題から、プリント再注文が可能な期間は、先の注文から２週間あるいは１ヶ月以内に限ると良い。

#### 【００３２】

【発明の効果】本発明によれば、一度プリント注文を行った場合、簡単な作業により再プリントを可能とするプリント作成プログラム及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供することによって、より簡単なプリント再注文が可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図１】本実施の形態にかかるプログラムを記憶した端末等を含むネットワークシステムを示す概略図である。

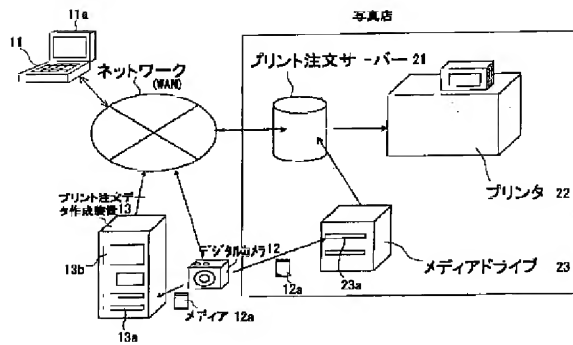
【図２】端末１１のモニタ１１ａに表示された画面の例を示す図である。

【図３】端末１１のモニタ１１ａに表示された画面の別な例を示す図である。

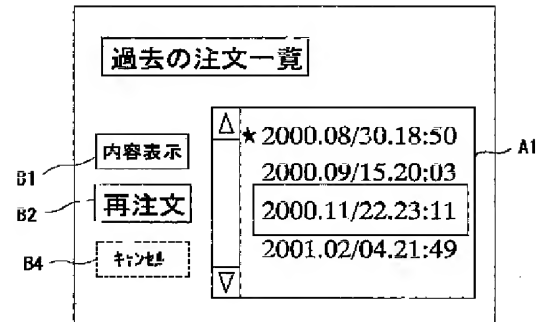
#### 【符号の説明】

- １１ 端末
- １２ デジタルスチルカメラ
- １３ プリント注文データ作成装置
- ２１ プリント注文サーバー
- ２２ プリンタ
- ２３ メディアドライブ

【図1】



【図2】



【図3】

